

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	養老町立養北幼稚園		
実 施 期 間	平成25年9月4日(水)～11月22日(金)		
実 施 概 要	<p>① 地域の方と共に「ふるさと養老」「ふるさと養北」へ愛着を高める「三世代交流運動会」</p> <ul style="list-style-type: none">・園児たちに「ふるさと」への愛着がもてるように地域の方に孝子伝説で有名な“養老の滝”の話聞き、“養老音頭”の踊りを教えてもらった。・三世代交流親子運動会では、「ふるさと養老」「ふるさと養北」をテーマに、地域の方、長寿会の方、祖父母、保護者を招き、“養老宝物運び競争”“養老音頭”を共に楽しんだ。 <p>② 地域の方や小学生と共に農業体験「さつまいも掘り」「やさいも会・大豆の収穫」</p> <ul style="list-style-type: none">・6月に交流をしている小学生と一緒に、地域の方から教えてもらい苗植えや種まきをした。作物の収穫や秋の実りを共に喜び合った。そして、10月にさつまいもや大豆を収穫し、「やさいも会」を開いた。 <p>③ 祖父母や地域の方と共に「伝承遊び・もちつき会」</p> <ul style="list-style-type: none">・「けん玉」「お手玉」「こま回し」等やもちつきを、祖父母に見せてもらったり、教えてもらったりしながら、伝承文化に親しんだ。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	(祖父母42人含む) 98人	計 128人
	地域関係者	30人	
実 施 状 況	<p>① 地域の方と共に「ふるさと養老」「ふるさと養北」へ愛着を高める「三世代交流運動会」(9/4・9/28)</p> <p>入園して覚えた幼稚園園歌の中に“養老山から・・・”という歌詞がある。「養老って知っている？」と投げかけると、遊びに行き公園を知っている子は多い。2017年に『養老改元1300年祭』を迎える養老町のことに愛着が感じられるよう、〈養老の滝〉のビデオを視聴し、やさしい源庄内のことやひょうたんに滝の水を入れたらお酒になったことに興味が高まった。地区の敬老会には、折り紙でひょうたんを作りプレゼントをした。</p> <p>さらに、「ふるさと養老」「ふるさと養北」へ愛着が高まることを願い、興味をもった〈養老の滝・ひょうたん〉にちなみ、伝承されている『養老音頭』を地域の方に教えてもらうことにした。</p> <p>〈9月4日 実施内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">○地域の方から養老や養北についての話を聞こう○『養老音頭』の話と踊りを教えてもらう○みんなで『養老音頭』を踊ろう <p>地域の方や三世代が集う「三世代交流運動会」では、岐阜県マスコット「ミナモ」や養老町マスコット「スマイルげんちゃん」を応援団に迎え、参加者みんなで「ふるさと養老」「ふるさと養北」を生かした競技が楽しめるよう取り組むことにした。</p> <p>〈9月28日 実施内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">○親子競技：園伝統競技『親子キャタピラ』に「ひょうたんくぐり」「ひょうたん運び」を取り入れた競技○幼保交流競技：『なかよし養老鉄道』○園児個人競技：『ふるさと養北、冒険に出発!』○参加者全員競技：『養老宝物ひょうたん運び』○みんなで踊ろう：『養老音頭』		

	<p>② 小学生や地域の方と共に農業体験「さつまいも掘り」「やきいも会・大豆の収穫」(10/22・31)</p> <p>園周辺には、東海環状自動車道が開通したが、田んぼや畑など自然にも恵まれている。しかし、ほとんどの子どもたちは、お店で買った物や祖父母が作った物を食べるだけで、家庭において農業体験をしたことがある子は少ない。そこで、収穫を楽しみにしながら自分の手で作る体験をさせたいという地域の方の協力から、仲よしグループで交流会を行う小学生と共に取り組むことにした。(6/11：さつまいもの苗植え 大豆の豆植え)</p> <p>〈10月 実施内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の農家の方(以後、畑先生と記載)の話 ○仲よしグループ毎にさつまいも掘り ○やきいも会(地域の方がもみ殻で火種づくり) ○枝豆の収穫(後日、試食)・空豆の豆植え ○やきいもの試食・芋づる・落花生の試食 ○地域の畑先生へのお礼の言葉 <p>③ 祖父母や地域の方と共に「伝承遊び・もちつき会」(11/22)</p> <p>遊ぶことは大好きな子どもたちだが、家庭ではゲームに夢中な子が多い。また、核家族も多くなり祖父母とふれあうことが減少している。そこで、子どもたちの発達段階も考慮しながら、じっくりとかかわり遊ぶきっかけとして、祖父母から伝承遊びやおもちつきを教えてもらった。</p> <p>〈11月22日 実施内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝承遊び：昔の遊びを教えてもらう 「こま・竹馬・あやとり・けん玉・はねつき・竹とんぼ・まりつき」 ・祖父母に教えてもらう遊びを祖父母と相談し、教えてもらう。 ○遊び名人の紹介 ・祖父母から得意な遊びを見せてもらい、技のすごさや新しい遊び方を発見する。 ○おもちつき会：昔の道具を使い、おもちつきの仕方を教えてもらう。 ・道具の話、つき方を見せてもらい一緒におもちつきをする。 ・子どもたちは、祖父母や保護者におもちを配り一緒に食べる。 ○みんなで楽しく：感謝の気持ちを届けよう ・歌「ふるさと」手話「はなさき山」を一緒に歌う。 ・プレゼント：肩たたき「まつぼっくり」の歌に合わせて行う。 ○小学校へ「いつも、なかよし交流会ありがとう」、給食の先生に「おいしい給食ありがとう」という気持ちを込めておもちを届ける。
<p>成果及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○直接、地域の方の話を聞いたり教えてもらったりすることで、園児たちがふるさとのことを身近に感じ、もっと知りたい気持ちも高まり、地域の方への親しみを深めることができた。 ○三世代が集う運動会で地域に伝わる踊り『養老音頭』や力を合わせる『宝物運び』競技を取り入れたことで、園児にとっては興味が沸きふるさとのことを知るきっかけとなり、地域の方には懐かしい思いの中で楽しんでもらえることができた。 ○継続してふれあい活動を行うことで地域の方からは、園児たちや保護者に伝えたいという思いが高まり、地域に伝わる食文化(ゆで落花生・さつまいものつるの煮物・大豆の煮物)を教えてもらうことができた。 ○さつまいも栽培からやきいもの試食までの一連の活動を通して、園周辺の畑や田に栽培されている農作物への関心が高まった。また、農家の方々の苦労や喜びを体感することができた。 ○地域の方との交流活動を通して、地域の方が園児への関心を高め、幼稚園教育について理解を深めていただくことができた。また、家庭には事前に通信で交流活動を知らせ、活動後の園児からの話を聞き、地域の方との体験で学ぶ喜びを感じている。 ○祖父母の方は、自分たちの幼い頃の遊びについて園児に一生懸命話したり、共に活動して教えたりしながら、ふれあいを楽しみ園児の成長を喜んでくださった。また、幼児たちも遊びの楽しさを感じることもできた。 ●継続してきたふれあい活動から、地域の方に教えてもらうことが多くなってしまふ。園児と共に調べたり考えたりする学びの環境を園内でも工夫していきたい。 ●目的を常に明確にもって、活動に参加できるようにしたい。 ●さらに園外保育に出かけて、地域への興味関心を広げたり、地域からの情報収集を行ったりして、協力者数の増加を図っていきたい。